

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②事業者情報

名称：	日高どろんこ保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	園長 北原 由美	定員(利用人数)：	90 名
所在地：	〒350-1203 埼玉県日高市旭ヶ丘211-3	TEL	042-984-1370

③評価実施期間

平成 27年 11月 12日（契約日）～平成 28年 4月 日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

<児童と保護者の人権の尊重について明記し、一人ひとりを理解する気持ちを大切にに取り組んでいます>

理念は、自分で考えて行動できるよう「にんげん力」を育てるとあります。保育目標には、「原体験」を大切に「センス・オブ・ワンダー」と「人対人コミュニケーション」を掲げています。とくに児童と保護者の人権の尊重を大切に考えて明記し、一人ひとりを理解する気持ちを尊重しています。保育品質マニュアルには、人権に関するスタッフ教育の強化や具体的な取り組みの詳細が多数明示されています。4月の全体研修では「人権チェック」について学び、全職員を対象に最低年1回は子どもと保護者の人権を扱う研修を実施しています。「児童、保護者の人権に関するチェックリスト」を全職員に配付し、保育環境や子どもの理解、人権、性差などを挙げています。ボランティア受け入れ時には、「人権尊重」について読み合わせをするなど、さまざまな場面で取り組む体制を整えています。

<看護師が一人ひとりを毎日チェックして記録をするなどていねいに子どもの健康管理に取り組んでいます>

看護師は、マニュアルと保健指導計画、保健年間指導計画に基づき保健指導を実施しています。毎朝子ども一人ひとりに声をかけて健康観察を行い、鼻汁が出ている、咳が出ているなど名簿に全園児の様子を記載して健康状態の把握に取り組んでいます。予防接種については接種状況がわかる一覧を身体測定カードに添付し、毎月身体測定後に保護者に見てもらい更新しています。ほかにも、手洗いチェッカーを手作りするなど、健康管理に努めています。

地域医療と看護保育の連携で、だれもが利用できる完全隔離の病後児保育室を併設しています。また、事務所の奥には医務室が設置され、子どもの体調変化に対応できる環境を設定しています。37.5℃以上の発熱の場合は保護者に子どもの状態を連絡しますが、お迎えの要請はしていません。我が子の具合が悪いときは「できることならお迎えに行っておきたい！」とだれもが思うものですが、それをできない保護者の気持ちを理解するとともに、子どもの体調を一番に考えます。看護師のもとで子どもが安静に過ごすことができるように配慮し、高熱となった場合には、状況を伝え可能であれば早めのお迎えをお願いしています。保護者の気持ちに寄り添い、ていねいに子どもの健康管理に取り組んでいます。

**<ISO9001（品質マネジメントシステム規格）の取得をきっかけにスタッフハンドブックを改定し、「保育品質マニュアル」を完成しました>**

ISO9001の取得をきっかけにスタッフハンドブックを改定し、「保育品質マニュアル」を完成しました。26項目の柱を作り、巻頭に法人の理念と特色を記載し、職員の基本スキルなど現場で生かされるように配慮して作られています。この「保育品質マニュアル」を全職員に配付して共通認識を図り、子どもたちの「にんげん力」「自分で考えて行動する力」をはぐくむよう、互いに活動していくことを経営層は願っています。職員は読み込んで理念を理解することで、実現に向けた積極的な取り組みが進んでいます。今年度、職員自らアイデアを出して研修を企画し、竹細工で灯籠を作ったり堆肥の中から幼虫を見つけて各園に配付したりするなど、法人の職員同士が意欲的に学び合い自己成長しています。

**◇特にコメントを要する点**

**<子どもが自由に遊びを選び整理整頓が身に付くように、室内環境を見直してはいかがでしょうか>**

外遊びを「日常化」し、園庭には築山や木登りをできる樹木があり、裸足保育で地面をとらえて遊んでいます。やぎを飼育するなど「原体験」を大切にし、理念を達成するための環境が設定され、アスレチックも製作中です。

雨天時には、2歳児以上の子どもはテーマ別に設定した部屋を選んで遊ぶようにしています。製作をするときなどは、そのつど職員が環境を整え、子どもが選べるように配慮していますが、今後はいつでもすぐに子どもが使えるように、製作用の道具などをセットしたワゴンのようなものを整備されてはいかがでしょうか。表現活動やごっこ遊びなどを自由に選んで体験できるように配慮することを期待します。整理整頓に関しては、トイレの前のスリッパラックや、全クラス分の帽子入れを設置するなどの工夫をし、子どもは自分でスリッパを揃えるなど、自主性が育っています。さらに、部屋においても整理整頓が身に付くように見直されることを期待します。

**<保護者参加行事を明確にし、早めに伝えることを望みます>**

年度当初に、「年間行事、予定計画」を保護者に配付しています。そこには、商店街ツアーや宿泊の稲刈り体験、避難訓練、運動会、青空保育などの行事計画が明記されていますが、希望者向けの行事と親子参加行事などの区別はありません。保護者参加の行事については口頭で伝え、日程が近づいたら改めて保護者に参加するかどうかを確認していますが、保護者からは参加行事がわからない、もう少し早めに確認して欲しいという要望があります。働く保護者にとっては、保護者参加の行事予定を少しでも早く知ることによって予定を立てやすくなるでしょう。今後は、保護者参加行事にしろをつけるなど、検討されることを望みます。

**⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント**

第三者評価は、日ごろ取り組んでいる保育内容および運営全般について外部からの視点で気づきを得る非常に有効な取り組みであると認識しています。ここで明らかになった課題、成果、問題点などを職員および法人全体で共有し、よりいっそう質の高い保育サービスの実践のためにどんな取り組みが必要か、具体的なアクションにつなげてゆきたいと考えています。

**⑥各評価項目にかかる第三者評価結果**

別紙「評価細目の第三者評価結果」とおり